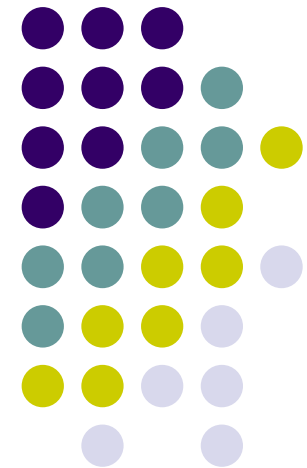


新キャリアマトリックス ～ 研究開発とその機能～

2009.2.13

松本真作
労働政策研究・研修機構





以下の目次

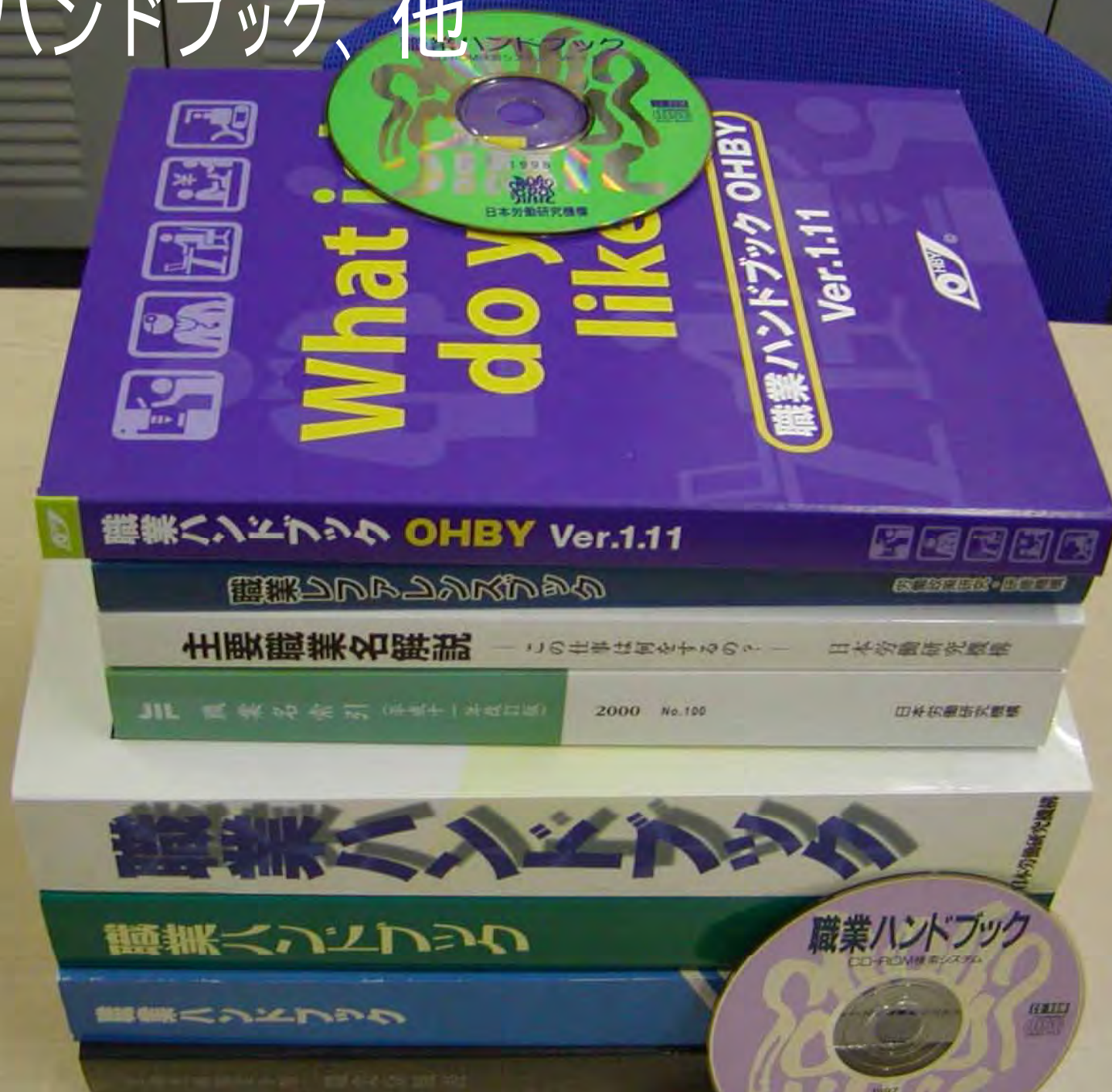
- キャリアマトリックスとは
- 開発の経緯、開発方法
 - Web職務免許資格調査について
- **新**キャリアマトリックス
 - 若年向けの開発 若年対策
 - 企業向けの開発 人材採用、人材活用
 - 課業リスト 基準数値更新 他
- 基盤機能と基本的な役割、今後の課題等



キャリアマトリックスとは

- インターネットで一般公開している職業情報サイト。
- これ以前は「職業ハンドブック」等冊子やCD-ROM(次頁に写真)。
- 主な機能は 職業情報 + 関係ツール(適職探索ナビ、キャリア分析ナビ 等)
- 毎月 約200万PV
- キャリアセンター、各種相談機関、求人サイト等多数に、当システムへのリンク

職業ハンドブック、他





研究開発関係者

- JILPTプロジェクトメンバー
 - 吉田修、松本純平、石井徹、西村公子、松本真作、下村英雄、深町珠由、岩脇千裕
 - 臨時研究協力員、派遣
- 開発会社 技術者等 4、5名
- 職業情報開発委員会(通称:開発委員会)
 - 学識経験者、教員、カウンセラー、関係団体、厚労省
 - 座長 木村周先生



開発の経緯

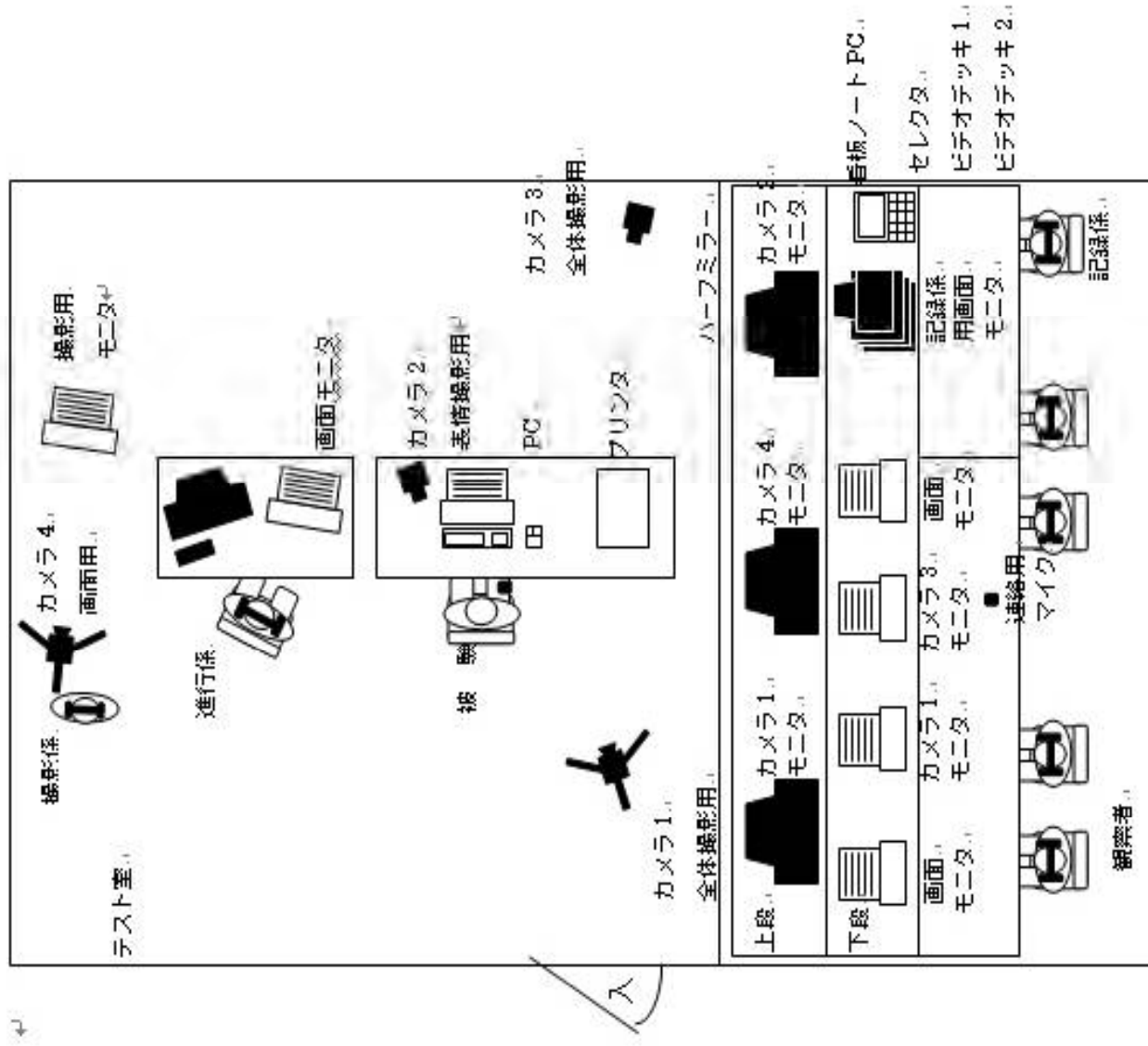
- 2000～2001年度 諸外国の事例研究等
米国労働省O*NET、独、仏、北欧
- 2002年度 開発方針の検討、「職業情報DB
検討会議」(厚労省)にて決定
- 2003年度～ システム開発と情報収集
- 2006年9月 一般公開開始
- 2008年9月 **新**キャリアマトリックス



開発の概要1:システム

- 開発委員会での方針、方向性の決定
- プロジェクトメンバーでの詳細な検討等(通称「仕様検討会」、毎週、約200回以上)
- 専門機関の「ユーザビリティ・テスト」(次頁)
- モニター、試行(相談機関、教育機関、他)

ユーザービリティテストの様子





開発の概要2：情報収集

- 既存資料 これまでに「職業ハンドブック」他を作成するために集めてきた情報
- 職業別団体等組織・団体の訪問 600箇所
- Web職務免許資格調査(次スライド)



Web職務免許資格調査

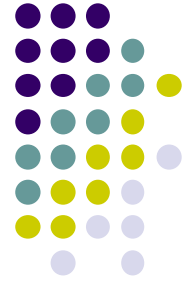
- これまでに 調査会社3社の調査モニター 計277万人を利用。
- Step1 従事している職業を選択(700職業のなかで)
- 情報収集をしている700職業の人は Step 2へ(先着50名)



Web職務免許資格調査

● Step 2

- 課業の選択と追加(自由記述) 平均20×500職業 計約10000課業
- スキル、知識、仕事環境を5段階で評定
- 保有免許・資格の選択と追加(自由記述)
- 属性等 年齢、性別、学歴、訓練歴、収入



新キャリアマトリックス 新機能

- 若年向けシステムの開発
 - ジョブタウン、職業ギャラリー
 - ケータイサイト
- 企業向けシステム(システムC、D)
 - 求人情報作成支援システム:職務要件の作成
 - 人材開発シミュレーション:職種転換の検討
- 利用者別メニュー
- 行動しよう！
 - ハローワーク等相談窓口検索



新機能(続き:地道な部分)

- 産業分野からの職業の検索
- 課業(task)リストの提供
 - 各職業平均20×500職業 計約10000課業
 - 各職業の課業リストはこれまで提供なし
- 基準数値のバックデータ累積

新機能: ジョブタウン

ジョブタウン (全503職業)

トップ

- ▶ 本社オフィス街
- ▶ 商業エリア
- ▶ 駅前商店街
- ▶ 住宅街
- ▶ 学術エリア
- ▶ 内陸工業団地
- ▶ 臨海港湾エリア
- ▶ 郊外エリア
- ▶ 世界へワープ

ジョブタウン(トップ)



新機能: ジョブタウン



ジョブタウン

トップ

- ▶ 本社オフィス街
- ▶ 商業エリア
- ▶ 駅前商店街
- ▶ 住宅街
- ▶ 学術エリア
- ▶ 内陸工業団地
- ▶ 臨海港湾エリア
- ▶ 郊外エリア
- ▶ 世界ヘワーブ

駅前商店街



新機能：職業ギャラリー



オフィスの職業

コンピュータ



事務



経営・管理



その他オフィス





企業向けシステム 開発経緯

- 職業情報を活用するシステムC(求人支援)とD(人材開発・人材活用支援)として、当初よりの構想。
- ハローワーク(16ヶ所32名)、求人企業(32社)、その他(検索サイト求人広告部門、人事管理サイト運営会社、人事コンサルタント、社労士、若者相談機関、関連分野研究者、他)でヒアリング、有用性等をチェック。

企業向けシステム システムC、D

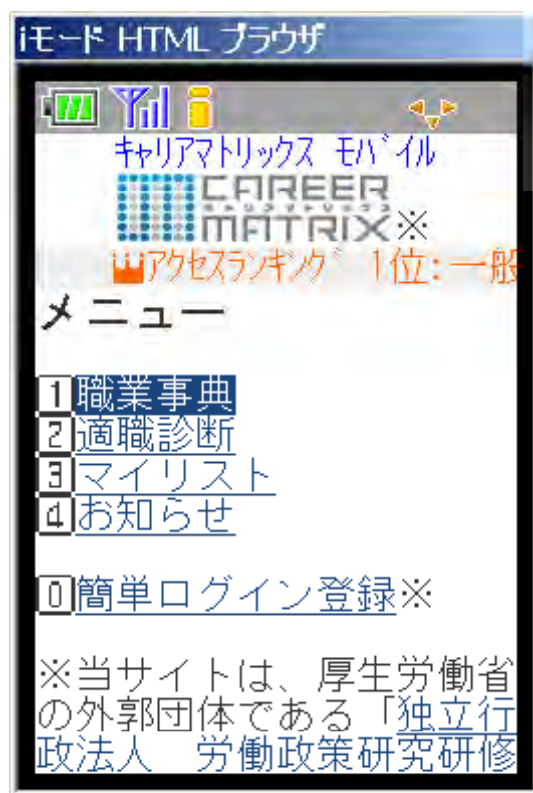


- システムC: 求人情報作成支援システム: 職務要件の作成
 - 課業リスト、必要なスキル、必要な知識、仕事環境等の情報提供。
- システムD: 人材活用シミュレーション: 職種転換の検討
 - 例1 新事業で新たな人材が必要に。社内の人材は活用できるか？
 - 例2 地元の工場が閉鎖。人をどうする？



キャリアマトリックス・モバイル

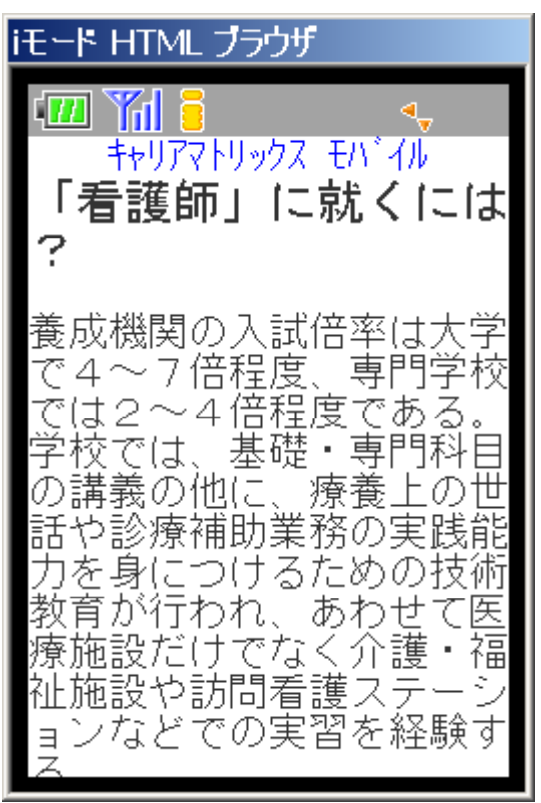
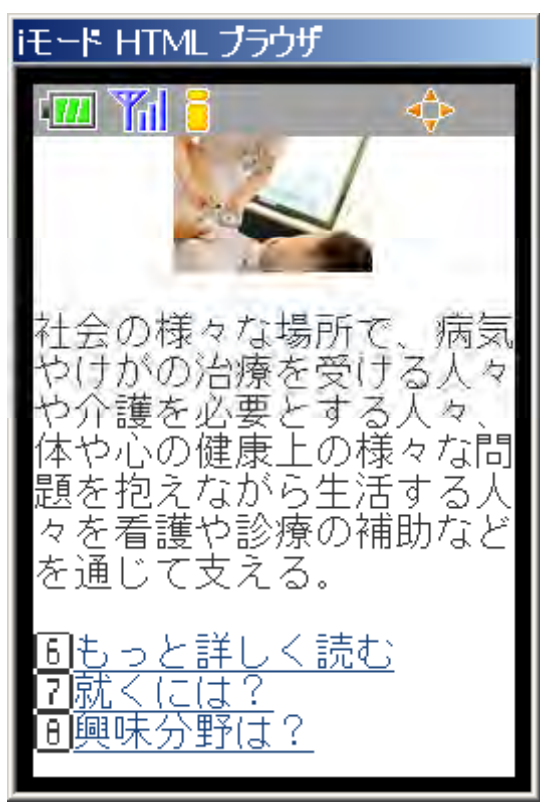
- 開発中 今年3月公開予定
- 厚労省 若年向け就労支援サイトの中で





キャリアマトリックス・モバイル

● 職業情報画面





システムの基本的な役割

- 個人 就職、キャリア開発、能力開発
- 企業 求人、人材開発、人材活用
- 社会 人的資源の開発と活用、
人材の最適配置 → 国際競争力強化



キャリアマトリックスの基盤機能

- 標準となる情報の提供
- 共通言語、共通基準の提供 (次スライド)
- 標準となるツールの提供 (自己診断、キャリア分析、人材採用、人材活用)
- 情報収集機能
 - Web職務免許資格調査
 - 膨大なアクセスから自動的に情報収集も可能。
例) 現在注目の職種は、利用者の傾向の分布、今必要な人材は(システムC、Dより)、等々。



共通言語：共通の用語、共通の基準

- 共通の職業名と共通の番号（職業分類）
- 関連する用語の共通化
- 基準の共通化（ のスキルがこの程度等）
- 将来的には「標準スキル分類」、「標準知識分類」、「標準仕事環境分類」等々。
- 米国労働省 O*NET common language



今後の課題等

- 基盤機能(前スライド)の充実、強化。
 - 情報収集、更新
 - Web職務免許資格調査
- 周知、広報、利用拡大。
 - 利用活用事例の収集